



大阪錦繪新話 第三号

第三大區七小區龜谷西町依野屋橋東入南側
 住する大講義教宗田中守の孫三年七ヶ月にして書
 讀文字をき説教をあらと新編紙に有り此子又佐賀縣
 の貴属田中の男はて女を本子とて別り榮由の娘を此
 子の詠歌に見ると二歳余月は歌詠を古未聞き
 二月廿日の朝車にいりておのの影見の事あり
 朝とてたきと日の出とておの影見の事あり
 ね祖々々雪のふりておのの影見の事あり
 ね祖々々雪のふりておのの影見の事あり
 ね祖々々雪のふりておのの影見の事あり
 小児の詠歌は雅味色々多し其意
 瞭然とて實は希代の才見あり



阿波文板

